

委員会だより

< 2月8日(日) 9名出席 >

1. 2004年度年間行事予定について

- ①年間行事予定表の訂正
 - ◆ 4月9日聖金曜日(主の受難)の「ミサ」は削除する。(この日はミサはありません)
- ②復活祭前の黙想会と赦しの秘跡
日時: 3月6日(土) 午後2時から黙想会、3時から赦しの秘跡、4時から主日ミサ
黙想指導: 聖ペトロ・パウロ労働宣教会 レミ修道士
赦しの秘跡: 3人の司祭にお願いする予定
- ③十字架の道行: 四旬節中の毎金曜日 午後1時30分から。(2月27日～4月2日)
- ④聖公会との合同祈禱会(予定)
神父様の意向として、2005年キリスト教祈禱一致週間に、典礼(祈り)と交流を目的に、泉区にある「聖公会・聖クリストファー教会」と合同祈禱会を行なう企画がある。
- ⑤高野哲夫助祭の叙階式関連事項
 - ◆ 司祭叙階式: 3月20日(土・春分の日) 沼津教会にて
⇒参加希望者を募り、人数が多ければバスをチャーター。
 - ◆ 中和田教会における初ミサは、5月9日(日)を予定。
 - ◆ お祝いには、緑のストラを差し上げます。贈呈は初ミサにて。
⇒そのためのお祝い金を皆様からも集めさせていただきます。

2. 信徒総会に出された課題について

- ① 運営基準見直しは、課題があることを認識していきたい。
- ② 献金額の減少について: 年金生活者の増加や新たに信徒を増やすことの難しさ等、実行具体論は非常に難しい
- ③ 教会建物の補修について → 床下の鉄骨が錆付いている専門家の橋さんや松下さんにアドバイスをお願いします。(担当は福島副委員長)
- ④ バザーについて
 - ◆ 基本的には従来どおりで実施する。
 - ◆ バザー券については再検討してみる。
- ⑤ 運営グループについては、引続き審議を重ねる。
- ⑥ 「中和田教会葬儀取扱規定」について
 - ◆ 昨年度壮年会で話し合われた案件資料(マニュアル)に従い検討を行ない、これを基本にして実施する。

3. 各委員からの報告と連絡

- ① 一粒会報告(資料参照)
- ② 第5地区福音宣教委員会報告(資料参照)
- ③ 典礼委員: 聖具など購入予定→ローソク灯消し用具、復活のローソク、「枝の主日」のための枝など。
- ④ 要理委員: 毎月第2日曜日は子供のミサとする。
- ⑤ 広報委員: 広報紙への原稿担当を、奇数月は壮年会、偶数月は婦人会でお願いしたい。なお、自主的な投稿も大歓迎。原稿締め切りは、発行月の前月25日とする。

壮年会だより

< 2月15日(日) 17名出席 >

1. 2/8教会委員会報告(詳細は別項)

2. 審議・報告事項

(1) 壮年会関係

- a. 新入会員紹介: 下迫 英司さん「宜しくお願いします」。
- b. 壮年会住所録・連絡網の修正連絡

- ◆ 新年度版に修正し出席者に配布されたが、欠席された方にご連絡するのか、次回以降検討する。

(2) 典礼奉仕者(萩原さん)

- ◆ 先唱者を壮年会の希望者が順番に務めています。メンバーが固まったら、広報にも掲載します。



3. 自由発言

(1) 信徒名簿修正について(小谷さん)

- ◆ 現在の信徒名簿は発行から大分時間が経過している、(個人では)広報掲載の転出・入者を見ながら修正している。見直しを考えるとどうか。しかし、有料にするか・無料の場合は「誰がどのようにするのか」また、「配布はどうするのか」等の問題があるので、委員会で検討して頂きたい。
- ◆ 当面は、教会役員の名前と電話番号一覧表を、頂きたい。【委員会に提言する。】

(2) オルガンの調律について(小谷さん)

- ◆ 電子機械修理(電子オルガンの調律)を、数年前に実施したきりなので、調律をして頂きたい。【委員会に提言する。】

(3) 行事について(小谷さん)

- ◆ 年間行事計画に「敬老のお祝い(ミサ・祝賀会)」とあるが、「祝老ミサ・祝賀会」として祝って欲しい。【委員会に提言】
- 《後記》 今例会は17名の参加を頂き、集会室がほぼ満杯の盛況でした。(正確な記録はありませんが)出席者数の新記録を達成した模様です。

婦人会だより

< 2月15日(日) 31名出席 >

1. 委員会報告

2. 第5地区福音宣教委員会報告(石川さん)

3. 典礼部からのお知らせ(青柳さん)

- ◆ 典礼準備掛りに登録されている方の集まりを2月22日(日)ミサ後行ないます。

4. お知らせ

- ① ご病気療養中の福島さん、吉田ちかゑさん、八乙女さんに霊的花束のお見舞をさしあげました。
- ② 教会財務のお手伝いを江尻さんと宮崎さんがしてくださることになりました。
- ③ NRC(国鉄カトリックの会)から2万円のご寄付を頂きました。
- ④ 連絡網、地区別表、掃除当番表などを集会室に貼り出すことになりました。
- ⑤ 従来、掲示で申込みを受け付けていましたお茶をはじめ各種物品の注文は、今後例会時のみの受け付けとなります。
- ⑥ 集会室の流し場のフキンなどは、使用の都度、使用した方で持ち帰って洗濯してきてください。
- ⑦ 集会室の冷蔵庫を使用する場合は、使用する方が分かるようにお名前と日付を必ずご記入ください。
- ⑧ 広報紙への投稿を積極的にお願いします。特に婦人会の担当月は偶数月です。

5. 討議事項

- ① 役員4名では今までのように仕事をこなせないの、皆さんで分担し合ってしていただく。(承認)
- ② 例年規模のバザー、その他の行事を考えて、以下のグループを作ることになりました。
「手芸・洋裁」グループ(材料を持ち帰り、自宅で作業して下さる方も含む)
「食事のお手伝い」グループ(復活祭やクリスマスなどのパーティーなど)
分担表を集会室に掲示しますので、積極的なご記名とご協力をお願いします。尚、健康上や種々のご都合で参加できない方など、くれぐれも無理のないようにお願いします。若い会員さんの参加も歓迎します。時にはおばあちゃん会員さんにお子さんを預けて、手芸や洋裁、お料理を楽しみながらお手伝いしてみませんか?

【次回例会は3月21日(日) 当番はA地区】



広報 なかわだ

3月の予定

委員会	3月 7日
高野助祭司祭叙階式	3月 20日(沼津教会)
壮年会、婦人会	3月 21日
サロン	3月 14, 28日
レジオ	3月 12, 19, 26日

第299号



2004年 3月号

中和田カトリック教会

広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1

Tel. (045) 803-6141

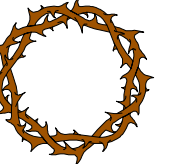
<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成16年3月7日



オリンピック精神で

ジャック グルニエ 神父



今回の夏季オリンピック大会はアテネで行われる予定です。現在、世界中で、多くの選手がそれぞれ最高の努力をしながら『金』を目指しています。

ところで、今国際オリンピック大会100周年記念を迎える国々が、アテネを舞台として選んだ大きな理由があります。そうです。ギリシアはオリンパス山のそばえる国でありますからね。オリンピックとは、それほど大昔の発想であるのでしょうか。実は、現代の大会は19世紀の終わり頃に始まったといえますが、ご存知の通り、ずっと前にもそのオリンパス山の辺りにはいくつかの都市出身の青年たちが定期的に力くらべしていたというイベントがありました。

ある日、突然、使徒パウロもオリンパス山の風景を思い出しました。そして彼は、たとえを用いて初代教会に属していたいろいろな元気いっぱい信者たちの気持ちを語ることにしました。パウロが語る当時の信者の内に新たに思われた『オリンピック精神』を読みましょう。「あなたがたは知らないのですか。競技場で走る者は皆走るけれども、賞を受けるのは一人だけです。あなたがたも賞を得るように走りなさい。」(一コリント9.24)

確かに、パウロによると、わたしたちキリスト信者が手を加えた『オリンピック精神』とは、皆が共に「賞を得る」ということで、またそれが結局見物人たちをも喜ばせる結果になると言えます。とても不思議です。

主イエスご自身もすでに別の環境の中でそれと近い発言をなさいます。ブドウ園のたとえが思い浮かびます。賃金が問題になったところを見ましょう。強く抵抗の意を表す人に、イエスが「わたしはこの最後の者にも、あなたと同じように支払ってやりたいのだ。自分のものを自分のしたいようにしてはいけな

いか。それとも、わたしの気前のよさをねたむのか。」と。(マタイ20.14-15)

今現在、全国の若者は5人の中に1人が失業中になっているそうです。皆がお金をもらって、そんなみんなの喜びを想像できるかもしれませんね。

四旬節を体験しているわたしたち皆は、皆が共に賞を得るように召し出された交流、交わりの場に立っています。生ける神さまご自身のいのちを得るということ、また分け与えてくださるその生きる喜びを得るということ。それは私たちの「業」の目的とするところでもあります。わたしたちは社会の一員としても、また教会の一員としても、そこで走る選手の応援団の喜びを知るとともに、「兄弟」「姉妹」、「仲間」と呼べるようになった大勢の相手の成功を拍手で迎えて楽しみましょう。

お知らせ

四旬節と聖週間の典礼

- ◆ 灰の水曜日ミサ: 2月25日(水) pm8
- ◆ 十字架の道行き: 毎週金曜日 pm1:30
- ◆ 黙想会 3月6日(土) pm2 黙想、pm3 赦しの秘跡
- ◆ 枝の主日 4月4日 pm4 主日ミサ
- ◆ 聖木曜日 4月8日 pm8 主の晩餐のミサ
- ◆ 聖金曜日 4月9日 pm8 主の受難
- ◆ 聖土曜日 4月10日 pm7 復活徹夜祭ミサ(洗礼式あり)
- ◆ 復活の主日 4月11日 am10(洗礼式あり、ミサ後パーティー)

復活祭前大掃除

4月3日(土) am10から

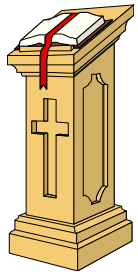
高野哲夫助祭の司祭叙階式

3月20日(土) pm1:30 沼津教会にて

転入と転出

転入・・・宮川 多恵子さん(2月6日)
転出・・・岩崎 暁さん(2月4日) 宮城県白石教会へ





御挨拶

平成9年に委員長に選出され、以来6年間、いろいろな事がありましたが、共同体の皆様方と委員スタッフに支えられて無事大役を果たすことが出来ました。又これからも、神父様のご指導と新委員会のもと、中和田教会の発展をお祈り申しあげます。感謝。

前教会委員長 花坂 洋一

ごあいさつ

新教会委員長 下村 毅

信徒総会で委員長をお引き受けして、早くも1ヶ月が経過いたしました。

花坂委員長はじめ各委員さんは6年間、いろいろな面で信徒総会をリードして頂き、ありがとうございました。新委員会も「担当に拘ることなく、全員で信徒総会と共に歩みたい」と思っております。

私の委員長推薦にあたっては、グルニエ主任司祭と花坂委員長からの、強いお勧めによったものです。

始めは、私が現在も会社勤めを続けており、平日帰宅は20時を過ぎる毎日です。教会の仕事ができるのは、その帰宅後と土曜・日曜日ですので、皆様にご迷惑をお掛けすると思い、ご辞退申し上げました。

一方、昨年私事の(当家の)問題で、皆様には大変お世話になりました。そのお心尽くしに対し「何とかご恩返しをしたい」と言う気持とが、葛藤いたしておりました。そして最後は、「皆で協力するから」と言う力強いお言葉を頂き、お引き受けすることにしました。微力ながら尽力いたしますので、宜しく願い申し上げます。

一回目の委員会(2月8日)の中では、グルニエ主任司祭のモットーである「教会の仕事は信徒全員でやろう」そして、小教区の役割は「典礼」「信徒の交わり」「布教」「教育」であり、これを委員会委員が分担(時には協力・時には支援)して、信徒の皆様のご協力を得て「楽しい教会」「皆が親しめる教会」にして行こうと誓い合いました。

新委員会にも、従来に増してご支援の程、宜しくお願いいたします。



ごあいさつ

前壮年会長 下村 毅

早いもので、福島会長から壮年会をお引き受けして一年が経過しました。会長任期は二年でしたが、04年度教会委員の「選出委員」でも有り、選出する立場の私が委員長に推薦されると言う、「可笑しな話」が実現してしまいました。

会長としての一年は、「ただただ、壮年会の皆様のご意見を聞きながら」一つ一つの課題を、何度も(何ヶ月も掛けて)審議しながら、進めて参りました。お陰様を持ちまして「壮年会葬儀マニュアル」「サロンマニュアル」の制定、「聖書朗読者」のルール化、更に「壮年会便り」の発行等、会として成果が型に残ったと思います。

壮年会例会は高齢化が進み(山崎神父様には「老人会」と冷やかされました。)、私が会の若手の部類に入るようでしたが、皆様の暖かいご指導により、楽しくやらさせて頂きました。

「神に感謝・壮年会員に感謝」です。

更に楽しい壮年会とするべき次期は、「小野雅彦様」にお願いしました。



壮年会会長を担当させていただくことになりました

新壮年会長 小野 雅彦

本年より下村前会長が教会委員長に就任されたことを受けて、全く考えもしなかったことなのですが、小生が壮年会会長を担当させていただくこととなりました。

小生は、今まで委員会の書記や教会ホームページの運営などで教会の仕事のお手伝いを細々とさせていただいて来ておりますが、諸先輩が大勢居られる壮年会の会長などは全く不似合いでして、非常に緊張しております。

未だ「貧乏暇無し」そのものの生活を送っておりまして、壮年会の皆様にはいろいろご迷惑をおかけすることになると存じますが、精一杯微力を尽くすつもりですので、何卒ご理解、ご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

中和田教会も新しい時代に向かって、グルニエ神父様を中心に大きく変わりつつあります。会員相互の親睦を深めると共に、皆様とご一緒に課題の共有化を更におし進め、目標に向かって少しでも前進したいと念じております。重ねて宜しくお願い申し上げます。



横浜教区第23回典礼研修会報告

ー テーマ:【主の日】ー

萩原 政弘

去る2月11日(水・建国記念日)に藤沢教会において、定例の典礼研修会が行なわれました。中和田教会から15名の参加があり、全体としても600名程度の参加者で、盛況のうちに行なわれました。

当日のテーマは「主の日」ということで、少子高齢化の現代社会において、主日のミサを捧げる司祭の不足が懸念されるようになり、すでに、ある教会ではミサが捧げられず、信者のみで行なわれる集会祭儀が実施されているようです。当教会でも一度この集会祭儀が行なわれました。

従って今回は、「主の日」をテーマとして、その重要性和「主日の典礼と共同体(信徒)」の取り組み方についての講演があり、プログラムは以下のように進められました。

講話① 市岡之俊神父(教区典礼委員)「主日の典礼と共同体」

講話② 久我純彦神父(教区典礼委員)『ミサのない主日の集会祭儀』をめぐって」



こんにちは 一粒会です

一粒会委員 竹内 広治・宮崎 ヒトミ

中和田教会の信徒総会が1月25日に開催されました。粗雑な一粒会報告も含めて重要な案件が、皆様方の熱心なご審議を経て全て了承されましたことを感謝し、ここに厚く御礼申し上げます。なを一層のご指導ご鞭達をお願い致します。

当日、都合により横浜教区一粒会の本年度活動計画をお伝え出来ませんでしたので、その要点を《一粒会通信》から抜粋、転載いたしますのでご一読下さい。

*活動方針

(1)横浜教区一粒会設立の原点に戻ろう！

司祭の高齢化、少子化による司祭召命の減少は急速に進んでいます。このとき横浜教区一粒会設立の原点に立ち戻り、「会員の精神的ならびに物質的一粒を結集して、教区関係の司祭養成に寄与することを目的とする」ことを再確認致しましょう。そして、目的達成のための事業の第一に掲げられている「司祭の召命と成聖のために特定の祈りを捧げる」ことの大切さを会員全員で確認し実行いたしましょう。

(2)地区活動の活性化！

地区活動を活性化し、会員が一致して目的達成のため事業に参加出来る様にしましょう。そのため、地区委員会・地区集会の開催など、出来るだけ多くの会員が司祭召命の大切さを実感出来るように、また

講話③ 青木利道氏(教区典礼委員)『ミサのない主日の集会祭儀』儀式書説明」

《質疑応答》

《ミサ》

市岡師は、主の日とは何か、その重要性和、その日に集まり典礼を行なう共同体についての大切さを述べられました。久我師は、ミサのない主日の集会祭儀を行なう上での意義と、具体的な手法について述べられ、青木氏は、横浜教区典礼委員会が作成し、横浜教区長試用認可の「ミサのない主日の集会祭儀式次第」という資料に基づいて、実際に集会祭儀を行なうかたちで説明をされました。

主日になんの不安もなくミサに与ることができる中和田教会は、信徒として幸せなことだと思います。今後も集会祭儀を行わずに済むように願わずにはおれません。

簡単ですが、以上で報告を終わります。

未だ会員になっていない信徒全体に「司祭の召命と成聖のために特定の祈りを捧げる」ことの重要性を理解いただけるための活動を進めましょう。

(3)広報活動を充実しましょう！

一粒会だよりの刊行など広報活動を通じ、会員へのお知らせ・信徒への一粒子への入会の呼びかけを進めます。

*教区活動方針に沿い、第5地区では次の計画を立てました

- ◆祈りのリレーは今年も継続いたします。スタートは5月、次の順序でリレーします。
(5月・鍛冶ヶ谷)⇒(6月・原宿)⇒(7月・戸塚)⇒(8月・中和田)⇒(9月・片瀬)⇒(10月・藤沢)⇒(11月・大船)
- ◆祈りの意向は… ・主の招きには素直に従う ・命の尊さを思い平和を願う ・小さきものへのいたわり
- ◆「第5地区版一粒会だより」を続けて発行いたします。
- ◆一粒会の大会や集会に会員の積極的参加を呼びかけ。

*お知らせ

- ◆第5地区一粒会の指導司祭が、山本神父様から久我神父様へ替わられました。
- ◆中和田教会の会員の中に、前年度分会費未納の方がチラホラ。是非お納めを！
- ◆今年から2年間宜しくお願いいたします。(竹内・宮崎)



ミサ当番表 (2004年3、4月)											
月日	主日	朗読・奉納	共司祈禱	侍者	オルガン	月日	主日	朗読・奉納	共司祈禱	侍者	オルガン
3/7	四旬節第二主日	上野・太田	上野	下迫瑠	保科	4/4	受難の主日	甲斐・北川	甲斐	石井絢	岩淵
3/14	四旬節第三主日	青年会	青年会	美底か、石井麻	岩淵	4/11	復活の主日	青年会	青年会		森田
3/21	四旬節第四主日	小野・下村	岩崎	永田下迫佳	森田	4/18	復活節第二主日	清水・森田	阿部咲	石崎	保科
3/28	四旬節第五主日	小野詩・石井悠	小野詩	石井大	保科	4/25	復活節第三主日	鈴木・小山恭	鈴木	下迫瑠	岩淵

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏:TEL 802-6258)迄お申し出下さい。